

第40回 季例会・公開講演会



平清盛の厳島参詣航路 -海上保安庁ウェブサイト「潮流推算」を活用して-

平成 29 年

日時： 11 月 13 日 月 13:30～15:30

無料

場所： 文学研究科 (文学部)
B104 講義室

講師： 広島大学大学院教育学研究科
教授 下向井龍彦氏

【概要】

源通親『高倉院厳島御幸記』は治承4年(1180)3月に高倉上皇・平清盛一行が厳島に参詣した航路について、途中の寄港地、入港出港時刻、寄港地での行動、厳島到着時刻などを詳しく記述する。しかし寄港地の入出港時刻を書かなかつたり、寄港したはずの港について記述がない場合もある。当時の瀬戸内海の航行は、陸地沿いの狭い海峡の早い潮流を推進力とし、潮流が逆転する6時間10数分ごとに航行と停泊を繰り返す「地乗り航法」であった。この点に着目し、海上保安庁情報局ウェブサイト「潮流推算」を活用しながら、高倉上皇・清盛一行が実際にたどった航路、寄港地、入出港時刻、厳島到着時刻を復元したい。